

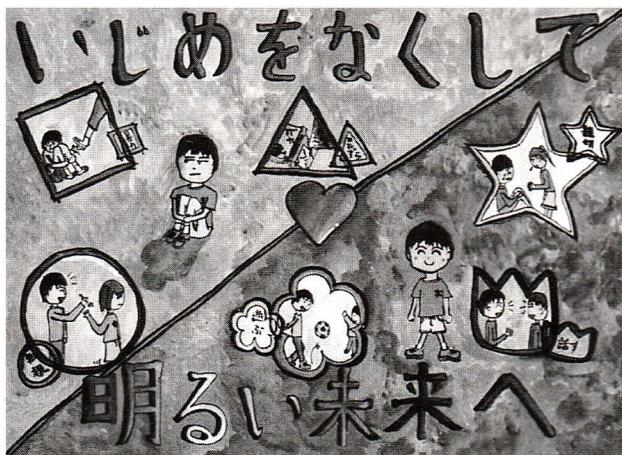


すこやか

苅田町青少年育成町民会議だより



小学1年生～4年生の部
会長賞 南原小学校
3年生 西山友理



小学5年生～6年生の部
会長賞 南原小学校
6年生 大橋りか

心豊かでたくましい 青少年の育成を目指しましょう



中学1年生の部
会長賞 苅田中学校
1年生 板倉亮平



中学2年生の部
会長賞 新津中学校
2年生 松蔭翔吾

健全育成ポスター今年度児童・生徒作品より

11月

青少年を明るくひやかに育てよう

苅田町青少年育成町民会議

非行防止・シンナー等薬物乱用防止研修会

8月4日(土)中央公民館研修室において薬物乱用防止研修会が行われ、両中学校PTA・生徒指導部会・生徒補導部会の七十名が参加しました。

西岡太郎先生を講師に招き、薬物乱用の現状について講演されました。その中で薬物使用の低年齢化や薬物が身近に手に入るようになつたこと等の話をされました。薬物使用による体に与える影響を家庭や地域、学校が連携し、もつと青少年に伝えなければいけません。また、情報交換の場では、身近になつた薬物からどうやって青年を守つていくかが話されました。



いじめストップキャンペーン

町ぐるみで「いじめ」撲滅

9月8日、JR苅田駅・小波瀬西工大前駅・エル苅田前で、「いじめストップキャンペーン」を実施しました。

今回、初めて分散型のキャンペーンでは、ありましたが町民会議委員及びその組織団体の方々、両

中学校のいじめ対策協議会の皆さん、総勢百十名が町民の皆さんに呼びかけました。会長伊塚工挨拶の中では「子どもからの、助けを求めるサインを見落とさない大人でありたい」との主旨で話されました。



苅田町初の未成年者飲酒防止自動販売機設置店



町民会議・3月までの主な事業予定

- 12月○補導環境部会・生徒指導研究部会の合同研修会
- 2月○いじめ防止協議会
- 各地どんどう焼き特別補導
- 3月○春休み特別補導
- すこやか37号発行
- 各部会の次年度計画
- 12月3月○定例街頭補導

苅田町大字谷84-1 「藤原商店(代表者藤原直子)」の店頭では、未成年者飲酒防止自動販売機が設置されています。

この販売機は、運転免許証で、成人を識別し、酒が販売されるものです。藤原さんは「最近、未成年者の飲酒、喫煙者がこの白川校区でも増えており、心配しています。まだ、この自動販売機設置義務は、まだありませんが、各店が設置し、子どもの非行防止に協力したいものです。」と話していました。

平成13年度 「家庭の日」「オアシス運動」作品町内入選者

賞・氏名 作品	会長賞			教育委員会賞			家庭部会賞		
	氏名	学校	年	氏名	学校	年	氏名	学校	年
作文	中村 拓人	苅田	5	藤崎 陽平	苅田	5	前田 彩	与原	3
絵	門田 紗理	新中	2	田辺 理沙	新中	3	山形 紗莉	新中	3
標語	大谷 祐樹	与原	5	石井 理沙	苅田	3	松田 太一	片島	4
	高瀬 淳一	苅工	1	富永 崇義	苅工	2	畠田 朋彦	苅中	2
書道	須藤 愛	苅田	1	千代丸祐美	南原	1	油布 雄己	南原	1
	岩田 働作	苅田	2	小田由佳理	馬場	2	江藤 萌々	苅田	2
	田中はるか	苅田	3	向井 優太	南原	3	泉 弘幸	苅田	3
	荒巻 千春	苅田	4	本崎 まみ	馬場	4	岩崎 千尋	苅田	4
	上畠 彰大	南原	5	吉田 香純	苅田	5	古市 葉子	与原	5
	白石 友加	南原	6	加来あやな	与原	6	中野 瑠美	馬場	6
	藤岡 良輔	苅中	2	金丸 奈央	苅中	1	松原美由紀	苅中	3
	金賞			銀賞			銅賞		
作文	松田 太一	片島	4	佐藤 里奈	苅田	3			
絵	岡野 沙織	新中	1	梶原 友希	新中	3	野口詩緒理	新中	1
標語	伊藤法理子	馬場	6	森本 悠介	白川	5	松清 智哉	南原	5
	岩丸 祐一	苅工	3	平野 杏子	苅中	3	足立 浩樹	苅工	3
書道	岡田たから	馬場	1	佐藤 南里	与原	1	青柳 有香	与原	1
	長坂沙智子	与原	2	原 久美	馬場	2	陶山 志帆	南原	2
	広瀬 晶子	馬場	3	山内 章子	苅田	3	須山 和博	与原	3
	松田 太一	片島	4	高辻 博基	南原	4	我有雄一朗	与原	4
	川上 孟亨	与原	5	鈴木 夏美	馬場	5	吉広 望美	南原	5
	宮本 雪絵	南原	6	尾形 愛美	白川	6	岩田侑太郎	苅田	6
	萬納寺 愛	苅中	1	大波多恵未	苅中	3	井上 陽代	苅中	2
	佳作								
絵	相原 美保	新中	2	諸富 真代	新中	3			
標語	望月 舞	与原	4	坂本 梢	与原	5	須田 隆文	与原	6
	高辻真太郎	与原	6	栗田 相子	苅工	1	大池 一吐	苅工	3
書道	大溝 卓	白川	1	中 彩香	片島	2	富村 祐翔	白川	2
	矢々部 篤	与原	3	西本 将也	片島	3	大隈 稔弘	白川	3
	奥田 悟志	馬場	4	吉田佳奈恵	苅田	4	要 やか	苅田	4
	坂本奈穂子	馬場	5	今村 憲弘	苅田	5	安藤 美希	白川	5
	岡部 彩乃	白川	5	吉梅 龍	片島	5	灰崎 昇吾	苅田	6
	吉崎 祥子	馬場	6	矢々部友里	与原	6	須山恵梨香	与原	6
	小田 葵	南原	6	永松 奈美	苅中	1			

入賞おめでとうございました

*家庭シンポジウム時「11月23日）に表彰いたしました。

作品募集状況

- 作文 小5
- 絵 小7 中25
- 標語 小259 中28 高172
計496
- 書道 小4 21 中1 2
計433
- ※苅田工業高校の学生からも応募
がありました。

県入選

●	●	●
ホ	標	獎
ス	作	励
新	苅	文
中	工	賞
1	3	5
タ	4	文
ー	語	賞

野 足 望 中
口 立 月 村
詩 繙 浩 拓
緒 理 樹 舞 人



サタデー・スマイルひろば

♠ 機 械 科

キーホルダーの制作を行
い、多くの方でオリジナル
あふれるキーホルダーを制
作することが出来ました。

電球のホヤを制作し、ス
イッチなどを取り付け、電
気スタンドの配線をして、
きれいな作品ができました。

苅田工業高校

平成13年度「苅工祭」が
10月26日(金)、27日(土)両日行
われ本校生徒の指導による

「モノづくり教室」は、小・
中学校及びその保護者の方
が参加され、大変好評でし
た。

ふ れ あ い

インタビュー

16

♠情報技術科

パソコンの制作にチャレンジ
し、ケースに各部品を取り付け、
フロッピーディスクドライブやC
D-ROMドライブ、更にハード
ディスクの取り付けを行い完成さ
せることができました。

今回、参加者の方から、「楽し
く制作することができました。」
「また参加したいです。」との感想
をいただき、盛況のうちに終了す
ることができました。

指導した生徒は「うまく製作の手
伝いがてきて良かった。」「説明し
ながら、アドバイスができ、自分
も勉強になった。」

●教える立場の人の気持ちがわか
った気がした。



スマイルひろば交流事業



大変だがやりがいがあった。
反省する部分もあるが、それ以
上にたくさんの事を得たと思う。

●小・中学生と一緒に活動してみ
て、めったにないことなので、一
緒にやっていくことが楽しかった。
て、めったにないことなので、一
緒にやっていくことが楽しかった。

● 参加してくれた小・中学生の人
達を教えるのは、結構難しかった
けど、なかなか楽しく製作ができ
たと思う。教えることで、自分も
理解することができた。
との感想でした。

苅田工業高校は地域に根ざ
した「モノづくり」を中心と
した教育活動を通して地域に
開かれた学校づくりを行って
いきます。
今後とも地域の方のご協力・
ご支援を賜りますようお願い
申し上げます。

小中学生の皆さん、参加しませんか？ 苅工生が工作の指導をします

—あっ、できた！楽しいモノづくり教室—

工作の内容	月 日	時 間	対 象	募 集 人 数	活 動 場 所
魚釣り道具の製作 (PART II)	12月8日	10:00 ~ 12:00	小学生	20名	苅田町 中央公民館
パソコンミュージック (ソフトウェアMIDIを 用いて、パソコンで 音楽を楽しむ。)	12月8日	10:00 ~ 12:00	小中学生 親 子	10家庭 程 度	苅田工業高校

- ・対象者は、苅田町内にお住いの小中学生及びその保護者に限ります。
- ・参加を希望される人は、直接、電話で苅田工業高校へ申し込んで下さい。
なお、参加申込者が募集人数に達しましたら締め切ります。
- ・参加料は無料です。

お問い合わせ先及び参加申込先

福岡県立苅田工業高等学校「サタデー・スマイルひろば事業」実行委員会事務局
TEL 093-436-0988 FAX 093-436-2572

すこやか

Q

&
A

しつけ
軽が おしつけになつていませんか…

Q

「最近の子どもは、軽（しつけ）ができないことがあります。」

軽について、よく聞きます。

地域の大人として、子育て中の親として、子どもたちにどれくらいの軽ができるのか気になります。そこで、軽について、気をつけるところを、教えてください。

A

軽は、思いつきや一

度言つたからというこ

とで身につくものではあります。日常生活の中で、こんな時には、こんなふうにというように具体的な行動の仕方や言葉での表現方法を教えていくことが大切ではないでしょうか。



しつけ度を、あなたが作る料理の味にたとえました。

0~3点

甘い甘い親ばと
思われています。
子どもに好かれるために敵
を恐れないのでありますか?

4~7点

甘の中に少しうま
辛さを感じます。
こんな感じたらおもやう。
親のじけが少し大きさ目を表
してきました。
どちらのらしさといふの
ではなく、自分で判断して
行動する力を育ててください
しょう。時々、ほめあげることもお忘れなく。

8~11点

甘い味がじわじわ
とここんでいます。
こんなことしたらいいんと
自分で判断する力が育つ
ります。
子どもに親の気持ちが
少しわかっているはずです。
子どもに親の気持ちが
少しわかっているはずです。

12~15点

いい味になってます。
これが基礎となる自分
から生きています。
じつけが着実に身について
下さい。しかしで気を
やめてしまつます。
これからも、その時に、気は
りくはりくはりくはりくは
いよげんしまします。

上の資料は、平成12年度に勝山町の町民会議と学力向上推進・いじめ対策委員会で作成している中の一部です。

青少年いじめストップ、非行防
止、オアシス運動等の行事に子
ども達が、真剣に取り組んでいる姿
が伺われます。

明日を担う総ての子どもが、この
子達と共に大きく育つてくれる事
を願いながら、編集後記とします。
(山本節子)

子どもは「勉強していれば良い」
といった子ども専業化の中、大人
との接点が少なくなり大人と子ど
もの差別化が進み変化に対応でき
ない子ども達が増えている今日、
町民会議が大人（親）と子どもと
の間で何でも話し合える場を提供
し、その活動の様子を「すこやか」
を通して皆に伝えられればと思つ
ています。

(田畠弘志)

編集・発行

勝山町青少年育成町民会議

すこやか編集委員会

0934・1111

内線390

編集後記